

2024年4月15日発行

# 鵬 鷲

HOSAI

「鵬鷲」鵬は翼の幅3,000里、一飛びで90,000里という伝説上の中国の鳥。そこで鵬（おとり）が飛ぶ（＝はるかかなたの）空のことを言う。「際限のない」という意味でも使われる。私たち経済開発同友会の目指す活力ある八代づくりも、言わば際限のない努力を必要としますが毎年この機関誌を出す事によって一歩一歩目標に近づきたいものです。その願いを込めて誌名を「鵬鷲」と名付けました。尚、題字は本島小夜子先生にお願い致しました。

八代経済開発同友会

(通巻第140号)

<http://www.goroyoka-yatsushiro.com>  
E-mail:jimukyoku@goroyoka-yatsushiro.com



八代経済開発同友会 令和5年度 スローガン

議論を重ねて、  
それぞれの未来を重ねよう  
～2年を振り返って～

八代経済開発同友会 第59代 代表幹事

村田眞一郎

59代、60代の代表幹事を仰せつかり、いよいよ任期が終えようとしています。1年目に「まずは、議論から始めよう そして、想定外の未来を創造しよう」のスローガンのもとスタートしました。2年目には「議論を重ねて、それぞれの未来を重ねよう」とスローガンをアップグレードしました。想定外の未来とは、これまではない新しい未来、つまり0から1を生み出すこと、未来を重ねるとは、0から1で生み出した新しいものを集めてより現実的な新しい未来のイメージを描くということです。それには、まずは徹底的に議論をすることが必要だと考えていました。風呂敷を広げすぎて全ての会員へその思いが十分伝わったとは言えませんが、2年間の幹事会、各委員会、例会でそれぞれで新しいものを生み出すための努力をしていただいたことは、日々感じていました。0から1を生み出すこと、それを実現するためにみんなの知恵を出し合い議論するというチャレンジをさせていただき、本当にありがとうございました。

そして、60周年の準備の年から実行する年でもありました。実行委員会ができるまでの間に、私個人としての50周年から60周年までの歴史の認識を59期で喧々諤々と議論し、幹事の皆さんの協力のおかげで、60周年の代表幹事としてこれまでの八代経済開発同友会の歴史や思いを踏まえてのスタートを切る準備をすることができました。その後、実行委員会が組織され、吉武実行委員長のもと、本年度の所信や事業も包括した

周年事業として素晴らしい成果が得られたと思います。特にくまモンポート八代での式典は、天候や設備など実現するには大変なリスクや困難が予想されましたが、見事に素晴らしい式典と祝賀会になりました。

また、コロナ禍を乗り越えるために、一人一人バラバラではなく、力を合わせて助け合いながら、一方で強力なリーダーシップを発揮し地域全体で問題解決に取り組むことを、安心なまち八代プロジェクトを引き継ぐことで学びました。そのことは、アフターコロナも、地域創生のあり方として重要だと考えます。行政や商工会議所、商工会、八代青年会議所、DMOやつしろなどの経済5団体はじめ、教育関係団体や観光、雇用関係の団体等、あらゆる関係団体との連携により、実際に行動を起こすことでより良い八代の未来が実現します。

やり遂げたことより多くの成し得なかったこともあります。今後も2年間で学んだ事、感謝の気持ちを胸に、明日からは一会員として微力ながら活動していきたいと思います。

最後に、素晴らしい経験をさせていただきました会員の皆様、陰になり日向になり支えていただきました幹事会の方々、そしてご協力いただきました関係団体の皆様、心より感謝申し上げます。

# 60周年のご報告



## 1年間を振り返って これまでと今、そして未来へ！

60周年実行委員長  
吉 武 卓 哉

令和5年度、私共、八代経済開発同友会は皆様のおかげで、創立60周年という節目の年を迎え記念式典、記念祝賀会、記念講演会を開催する事ができました。私達の諸先輩方が、いつの時代も未来に強い思いと情熱を持ち続け大好きな八代のため、その時代背景の中において59年間様々な事業を展開し進化を遂げてきました。60周年の節目の年にあたり、過去を振り返り先人たちに感謝をすることから始め、コロナ禍が明けた現在の立ち位置を確認し、次の10年（未来）に向けて本会の理念である幸福感のある企業と活力ある地域づくりに貢献できる事を目的とし、5つの部会を設置し60周年実行委員会を中心として周年事業に取り組みました。

セレモニー部会（八代・天草シーライン建設促進委員会）では、2023年11月4日（土）くまモンポート八代にて60周年式典の企画と運営を行い、オープニング映像の作成をはじめ式典の進行、来賓者の把握をはじめ、不慣れな屋外での開催でしたが当日は天候にも恵まれ素晴らしい式典を挙行することができました。更に、2024年2月27日（火）に「戦国武将に学ぶ人生哲学」と題し戦国史のおもしろさを発信する歴史研究者である小和田哲男様にご講演頂き、市民の皆様をはじめ、関係団体の皆様、メンバーの社員の皆様、180名近くのご参加を頂き創立60周年記念講演会並びに本会2月公開例会を実施致しました。

交流部会（組織活性化委員会）では60周年記念式典後における記念祝賀会を企画・運営を行い、くまモンポートにて開催をさせて頂きました。来賓の皆様方の会場までの送迎をはじめ料理・飲み物メニューの準備や選定、配膳、当日人数把握等、時間に追われての対応となり、更に当日のテーブルプラン変更を行うトラ

ブルがあったものの部会メンバーと参加会員の協力を仰ぎ、時間通りの進行で開催できました。シンガーソングライターMICAさんのミニコンサートを祝賀会の中で行い、参加頂いた皆様が一体となった素晴らしい祝賀会となりました。そして食品ロスの軽減を目的に祝宴時に3010運動を行い、参加者のご協力を頂き感謝申し上げます。

記念事業部会（次世代の未来をつくる委員会）では、取組む記念事業ごとに細分化し、高校生未来会議実践部会・子ども未来部会・記念映像部会の3つの担当部会ごとに記念事業を実施。

高校生未来会議実践部会では一昨年開催した高校生未来会議の検証をもとに、本町アーケード街のくまなんステーション内に2023年7月プリクラ及びガチャガチャの設置。本町夜市、くま川祭り当日を契機に若者が集い、週末は長蛇の列が絶え間なく続き好評を頂いています。2024年3月27日まで設置をしておりますので、ご家族・友人をお誘いの上、足を運んで頂きたいと思えます。そして2023年10月「ボランティア×賑わい500人プロジェクト」を2丁目商店街、桜十字八代リハビリテーション病院のご協力を仰ぎアーケード街の床面一斉清掃を実施。地域の中高生をはじめ本会メンバー含め250名で、「激落ちくん」を当日追加購入しないと足りないくらいの多数の参加を頂き清掃活動を行いました。更に、桜十字病院1Fのカフェラウンジ「Filcafe」にてボランティア活動の参加者にドリンクチケットを配布し、世代間を超えた情報交換の場として利用して頂き継続した事業の展開に繋がればと考えています。

子ども未来部会では2023年10月「さとおやこそだてマルシェ」が桜十字ハーモニー広場で開催。本会は、

後援&協賛団体として協力を致しました。「60周年記念事業オリジナルエコバッグ」を製作し、八代高等学校の生徒が育てたキンギョソウと一緒に来場者に配布し、メインステージに於いても市民の皆様へ本会60周年事業のPRをする機会を得ることができました。

記念映像部会では、20XX年……からスタートした8分弱の映像を作成し、地元高校生と部会メンバーで出演し現状を語りながら八代地域の未来を熱く語り合うストーリーで展開しました。祝賀会時に映像上映を行い、10年後の本会70周年時に今回作成した映像を観ながら過去を振り返り、その時代のメンバーで新しい10年を見据えた本会の運動展開に繋げていきたいと思っています。

魅力発信部会（八代魅力発信委員会）では、本会新法被の製作を行い、60周年のPRを兼ねてくま川祭り総踊りへ新法被を着用して参加しました。部会メンバーの企画で八代・天草シーラインバージョンと妙見祭バージョンの絵柄の校正を行い斬新で新鮮なリバーシブル法被の完成となりました。今後の本会事業に活用していきたいと考えています。

また、式典の当日参加者に用意した米芳醇オリジナルボトル用のラベル作成も行い、オモテナシへの貢献ができたことを確信しています。

メモリアルマガジン部会（情報システム委員会）で

は、過去の周年事業を振り返り、今の時代にあった形で本会ホームページ内に60周年事業特設ページを開設し、各部会で取り組んだ周年事業をアップさせていただいています。更にTUNAGU事業（会員企業の事業所及び事業内容紹介）掲載ページを60周年特設ページ内にもリンクを貼り有効活用しております。皆様方におかれましては、本会HPへのアクセスを是非お願い申し上げます。

5つの部会で60周年事業の大会テーマである「これまで」と「今」、「そして未来へ！」を、対内・対外にアピールできた1年間だったと確信しています。今後も大きな可能性を創造しながら次の10年を見据え未来に向けて、本会会員一同で揺らぐことのない思いを胸に、幸福感のある企業と活力ある地域づくりに、私共八代経済開発同友会はメンバー一丸となって貢献してまいります。市民の皆様方をはじめ経済5団体の皆様方、関係団体の皆様方におかれましては今後も変わらぬご支援とご協力を切にお願い申し上げます。

最後に八代経済開発同友会創立60周年事業にあたり多くの時間を費やし、各部会の事業に対してご協力・ご支援を頂いた92名の本会メンバーの皆さんに衷心より厚く感謝申し上げます。

1年間、本当に有り難うございました。



～これまでと今、そして未来へ！～

60周年記念事業をまとめましたので  
こちらからご覧ください。



# 事業報告

## 4月定時総会

令和5年4月25日、令和5年度4月定時総会を開催しました。

4月定時総会をハイブリッド形式で開催しました。懇親会には19名の来賓が来られました。総会・懇親会ともに良い雰囲気が進んでいき、本年度、60周年の事業が楽しみになった会員も多いのではないかと思います。総会資料等に関しまして課題を残した部分がありましたので、今年度ももっと準備の仕方、確認の仕方を精査していく1年にしていきます。いつもZOOMの設定や会場準備、二次会の段取り、受付、司会など総会を開催するにあたり、ご協力いただいております皆様に感謝申し上げます。2年目となります村田代表のもと60周年を駆け抜けましょう。



## 5月例会

次世代の未来をつくる委員会では、活力ある未来の八代づくりのために、会員企業の皆様に県南地域の子どもたちを取り巻く現状やその対応について知っていただき、圏域企業としてなしうることを考える契機をつくりたいと考えました。そこで、八代児童相談所小林所長と里親フォスタリング機関「優里の会」の黒田理事長にお越しいただき、「地域における児童を取り巻く現状と経済団体との連携について」との表題でご講演いただく運びとなりました。日頃あまり接することができない情報に接し、当委員会メンバーはもちろん、参加いただいた同友会メンバーの方にも考えるきっかけになったとの声も頂きました。

当委員会でも、今回の例会を契機に、関係各機関とも連携し、八代の未来を優しく明るくものとしていく動きを具体化していきたいと考えています。



## 慶寿の会

本年度はコロナ感染症の分類移行後、初の慶寿の会を行いました。

昨年に引き続き、テーブルごとに対象者への挨拶を促すことでスムーズな進行をすることが出来ました。併せて当日にサプライズで同友会の新しい法被を披露し、大変盛り上がる事が出来たと考えております。

対象会員の益々のご健勝とご活躍を心より祈念申し上げます。



## 7月例会

令和5年7月21日、八代グランドホテルにて7月例会を開催しました。今回の例会は、最新のAIについて学ぶ例会として、八代商工会議所の専務理事であられる松本章様にご講演頂きました。今話題の対話型AI：ChatGPTについての講演とChatGPTを登録から実装するワークショップを行い、非常に有意義な例会となりました。ChatGPTの活用例を見て、実際に使用することで、どのような言葉で導くかなどの質問力や文章力の重要さを知り、今後の活用場面とDX化について考えることができました。このデジタル分野は、日々技術の進歩が急速に進んでいる分野で、いかに個々に有益な情報を素早く・簡素にキャッチできるか、また、情報を理解するよう学ぶ姿勢・勇気が必要であると感じた例会でした。ご講演頂きました松本章専務、ありがとうございました。



## 8月例会（くま川祭り）

本会の60周年事業の一環として、4年ぶりに開催されたくま川祭り総踊りに参加しました。本番では、横断幕を先頭に掲げ、法被を着用して総踊りを踊りました。祭り本部前では、吉武実行委員長の掛け声で、全員が一斉に法被をリバーシブルに着用し直すサプライズを行い、大会関係者からは驚きの声が聞かれました。

賞を受賞することはできませんでしたが、会員相互の親睦を更に深めることが出来ましたし、とてもアットホームな関係性を築けたと思います。これから益々周年事業を盛り上げる雰囲気が醸成された祭りとなりました。



## 妙見祭献灯式

令和5年11月1日17時30分より八代神社（妙見宮）にて献灯式を行いました。

宮司や総代、保存振興会会長にもご参加いただき、祭りの始まりを告げるいい会になりました。



## 11月定時総会

令和5年度11月定時総会をホワイトパレスにて開催し、無事終えることができました。

60周年関係の事業や会議が開催されている中ではありますが、多くの会員に会場へ足を運んでいただきました。総会の第1号議案では、令和6年度代表幹事に有限会社下田青果園芸部べんぎんやの下田和利会員が選出されました。次年度代表幹事としての挨拶があり、囲む会では、挨拶で自己紹介をされました。その後の歓談でも自己紹介の内容が話題となるなど、次年度の盛り上がり期待される挨拶になりました。

総会の議事開催前には、吉武60周年実行委員長が登壇し、式典や60周年事業の取組への感謝と報告を述べられました。周年ならではの充実した事業を受けて、次年度の同友会がそのような組織をつくり、どのような事業をやっていくのか楽しみなところです。

総会を開催するにあたり、ご協力いただきました皆様ありがとうございました。心より感謝申し上げます。



## 12月例会

12月23日に金子代議士をお招きしての12月例会及び忘年会を開催しました。

八代の展望についてご講演いただき、限られた時間ですが懇親会にもご参加いただいたことで、八代地域の経済団体としてふさわしい会を開催することができました。



## 1 月臨時総会

令和6年1月26日（金）19時より、会場ホワイトパレスにて開催しました。

年始のお忙しい中、出欠のご返信と委任状の提出、ご参加をいただきまして、滞りなく開催に至りました。心より感謝申し上げます。

議事は、第1号議案「組織図（案）」、第2号議案「役員選出（案）」を承認いただきました。60周年を終え、次のやつしろの未来へ想いのつまった委員会が組織されました。次年度は室長、財政局長が組織に追加され運営方には、より情報共有が大切になってくるかと思われまます。囲む会では楽しいサプライズがあり、寸劇はノスタルジックな感じを受けられた会員もおられたのではないのでしょうか。

期待感とともに、いよいよ次年度の準備が始まります。令和6年度もよろしくお祈りします。



## 2 月例会

八代経済開発同友会創立60周年記念事業で一般市民の方々にも参加して頂き「戦国武将に学ぶ人生哲学」をテーマに小和田哲男氏をテーマに小和田哲男氏の講演を公開例会として行いました。これからも八代経済開発同友会の活動を色々な方に広めていきたいと思ひます。



## 3 月例会

熊本県企画立地課 審議員 松岡様と、八代商工会議所地域間連携推進委員会 委員長 豊田様に登壇いただき、熊本の経済環境と八代市の物流拠点並びに工場誘致の整備についての情報交換を行いました。最後に、八代の未来図を多くの会員と共有し、有意義な例会が開催できました。ご協力を頂いた委員会メンバーの皆さまには感謝です。この例会での成果を次年度にも生かしてほしいです。



## 能登半島地震の被災者へ見舞金を

3月25日（月）、村田代表幹事と吉武60周年事業実行委員長含む6名で八代市役所を訪問し、能登半島地震で被災された方々への支援を目的として、中村八代市長を通じて災害見舞金を贈呈しました。

この見舞金は、60周年記念事業で行った「アーケード活性化事業」で実施したプリクラやガチャガチャなどの収益金と、3月22日の村田年度最終例会で会員からの募金を纏めたものです。贈呈式では中村市長より「熊本も過去に震災被害にあったからこそ被災者の苦しみ理解できる。同友会からの見舞金は、しっかりと能登地区の被災者支援に活用したい」と話がありました。贈呈式後、2024年2月に開催された「八代高校生地方創生会議」の件や、八代市と同友会が今後の次世代の未来についてどう取り組むかの意思疎通を図りました。

今回の事業は、60周年事業の締めくくりと70周年に向け、相応しい内容となりました。

次世代の未来をつくる委員会副委員長  
住吉 幸記



# ～一年間お疲れ様でした!～

令和5年度 1月臨時総会



年度 次年度役員を囲む 次年度役員を囲む



～ともに学び・ともに八代の未来をつくろう～

## 新入会員募集

八代経済開発同友会では令和6年度の新入会員を募集しております。

八代のより良い未来をつくるために一緒に活動しませんか？

＝お問合せ＝

事務局 電話 0965-32-5620

FAX 0965-34-6113

(月曜日～金曜日 9時～16時)



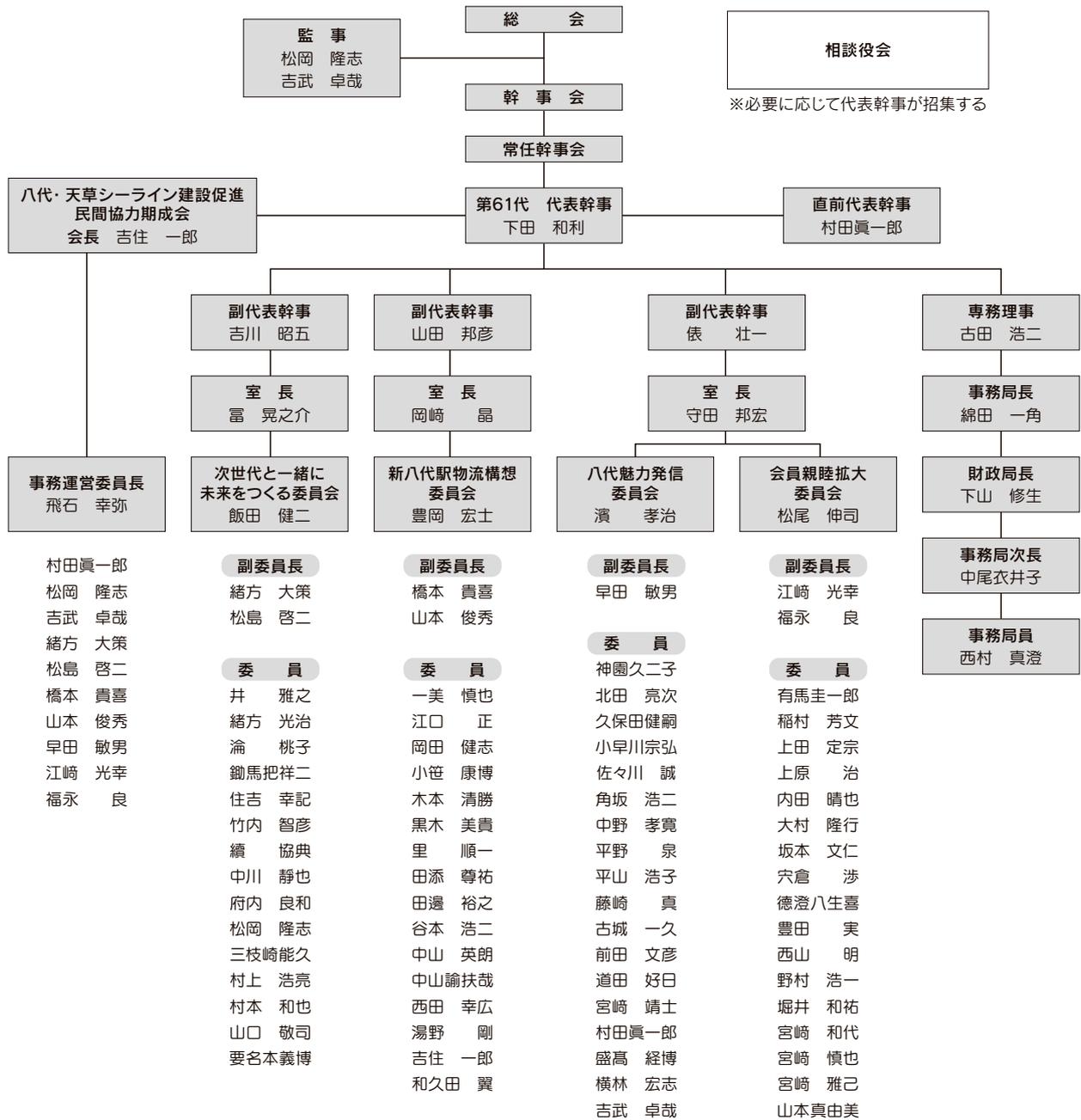
詳しい活動内容については  
ホームページをご覧ください



### LINE友だち募集中!

会員の皆さま、会員企業の  
皆さま、同友会活動に興味  
のある皆さまへ、最新の情  
報をお届けします!!

## 2024年度(R6) 八代経済開発同友会組織図



**実現させよう!**

# 八代・天草シーライン

**八代** ◀ 車で10分 ▶ **天草** 8.8km

私たちは、八代・天草を結ぶ橋(八代天草シーライン)の早期建設を求めます!